

大越に大規模太陽光発電所が完成



大越町牧野の工業団地に大規模太陽光発電所（メガソーラー）が完成し、５月１０日に関係者の見学会が開かれました。貨物運送業の東日運送㈱（本社・仙台市）が同社三春物流センター敷地内の遊休地を整備し、第１発電所、第２発電所に分けて太陽電池パネル８３５２枚（各４１７６枚）を設置しました。昨年８月に着工し、３月２５日から運転を開始しました。発電出力は２基合計１５００キロワット。年間発電量は一般家庭約６００世帯分に相当する約１５０万キロワット時の想定で、原油換算では１８９６３缶の節約になります。売上高は年間約６千万円を見込んでいます。東日運送では今後２０年間、発電全量を東北電力㈱に売電する予定で、電力の安定供給への貢献が期待されます。

防火の誓い新たに



市消防団の春季検閲が４月２８日、市運動公園多目的運動広場で行われました。各地区隊から団員１０９６人と消防車両５９台が出場し、検閲者から人員・姿勢・服装・機械器具の通常点検と分列行進の特別点検を受けました。また、優秀分団と無火災分団に表彰状が、長年精励された団員には功績章、勤続章、精勤章が、退団者には感謝状がそれぞれ贈られ、その功労をたたえました。

- 優秀分団表彰  
瀬川（船引）、美山（船引）
- 無火災分団表彰  
古道（都路）、常葉第１（常葉）、常葉第２（常葉）
- 功績章（勤続２０年以上）  
◇滝根…白岩俊久（第１）、遠藤和夫（第１）、蒲生健夫（第２）、会田昌則（第２）、先崎宗一（第３）  
◇大越…佐久間浩一（第２）、渡辺和宏（第２）、半谷和之（第２）、佐藤誠（第２）  
◇都路…渡辺仁一（岩井沢）  
◇常葉…坪井俊雄（庶務）、浦山宏（第１）、吉田正二（第１）、万崎和一（第１）、箭内勝秀（第３）
- 感謝状（分団長以上の退団者）  
会田眞一（前団長）、渡辺博光（前副分団長）、吉田忠房（前庶務本部長）、松崎清春（前地区隊長）、佐藤利雄、二瓶竹志、吉田健一、武田勝博、渡辺常吉、吉田宰弘、壁谷宗春、井堀文彦、佐藤安司、松本忠市、原竹道雄、宗像徹、真壁勇一郎（前分団長）

高齢者の元気づくりをサポート



高齢者が生き生きと生活できるように運動や活動的な生活をサポートする市高齢者生活支援事業補助員の委嘱状交付式が４月２３日、大越公民館で行われました。式では、大和田保健福祉部長から６０人に委嘱状が手渡されました。補助員の活動の場は主に転倒骨折予防教室で、今年度から実施する「いきいき田村元気塾（運動サロン事業）」でも高齢者の方々と運動や交流を図り、楽しく活動していきます。

きらびやかな衣装で「稚児行列」



４月２９日、船引町文珠地区の安倍文殊菩薩堂で稚児行列が行われ、華麗な平安絵巻が再現されました。地元の小学校を中心に児童約２５人と保護者が参加しました。子どもたちは文珠山の麓にある剛水山清涼寺で、きらびやかな平安衣装を身にまとい、世話人が少女の頭に天冠を被せ、「位星」と呼ばれる黒丸を２つ額に塗りました。一行は、ほら貝を吹く冨塚住職を先導に午後１時に出発。梵天を持った世話人や稚児、保護者など約６０人が、樹齢４００年の杉林の参道を額に汗しながら登り、安倍文殊の本堂を目指し練り歩きました。境内では、かわいい稚児の姿を見ようと大勢のカメラマンや市内外からの見物客が詰めかけました。

誰でも簡単にスキンシップ



大越公民館の女性学級「開講式および学習会」が４月２１日に行われました。当日は季節外れの大雪でしたが、１７人の参加者はストレスを軽減するリラクゼーションの一つ「タッピング・タッチ」に挑戦しました。指先の腹を使って優しくたたくことが基本の手法で、誰でも簡単に行うことができます。学級生からは「手の暖かさを感じた」「気持ちがほっこりした」などの声が聞かれました。